

大阪デモクラシー宣言

「今の政治はオカシイで!」「大阪を変えなあかん!」

私たちはそんな思いを抱き、この春、大阪デモクラ塾に集いました。

国民的な議論で決めた原発ゼロの方針を、安倍政権に骨抜きにされた翌日のことです。その後も、憲法の根幹である平和主義が一内閣の解釈で覆されました。地方議会では、市民に顔向けできない議員の不祥事が次々と明るみに出ました。大阪では、「出直し選挙」が強行され、住民そっちのけの対話なき政争が続いています。選挙に勝てばなんでもあり。

そうした「名ばかり民主主義」に陥っていることに危機感を覚えます。

私たちの社会は、阪神・淡路大震災、東日本大震災を経験し、「成長から成熟」、「競争から共生」へと向かう時代の転換点に立っています。

めざすのは多様性が花開き、だれも排除されない包摂力のある社会。

分断から寛容・尊敬へ。対立から対話へ。トップダウンからボトムアップへ。

民主主義(デモクラシー)を鍛え、政治の質も変えていかなければなりません。

私たちはその担い手をめざします。

未来への希望の種をまきたい。

皆さんと一緒に。

大阪デモクラ塾生・一同



私たちは、こんな社会をめざします。

■ けんか民主主義より ■ 「対話民主主義」の大阪へ

一人の強いリーダーのけんかの強さに頼った政治ではなく、市民の皆さんとの対話と情報公開を基本に行動します。

立場や世代、性別を超えて互いを認め合い、排除や差別のない多様な価値観を尊重し、共に悩み、共に解決策を紡ぎ出すリベラルな精神の政治をめざします。

■ 大ぶろしきより ■ 「草の根自治」の大阪へ

「制度さえ変えれば世の中すべて良くなる」と大ぶろしきを広げる

人気者おまかせの統治機構改革幻想にさよならし、地域のことは地域にいる住民が決めてつくりあげていく「草の根自治」の力を引き出します。

■ カジノ経済より ■ 「分かち合い経済」の大阪へ

大金に目がくらむギャンブルのような成長至上主義の経済とは一線を画し、高齢者も若者も、女性も男性も、誰もが肩ひじ張らずに人間らしく働き、

豊かさを感じられる「分かち合い経済」をめざします。原発からグリーンへ、コミュニティパワー（地域電力）を育て、コミュニティビジネスを応援します。

■ 分断社会より「包摂社会」の大阪へ

世代間対立や公務員叩きなどをあおる分断社会にはくみせず、人生のあらゆるライフステージで全ての人に居場所と出番がある地域社会づくりをめざします。

暮らしの不安や困難を個人に押し付けず、社会全体で支え合い包み込みます。

■ ひとりよがりより「認め合い」の大阪へ

自らの正統性ばかりを主張する偏狭なナショナリズムの台頭を抑え、お互いの違いを認め合い、隣人や隣国と共に課題に取り組む関係構築をめざします。

「平和国家」をジャパンブランドにする実践を大阪から取り組みます。

大阪デモクラ塾

大阪デモクラ塾は、民主党大阪府連第5期政治スクール(塾長・衆議院議員 辻元清美)。

過去最多の111名の受講生と著名な講師陣(中島岳志/高橋 洋/津田大介/伊藤 真/湯浅 誠/浜 矩子/鴻上尚史ほか)を擁し、2014年に開講しました。(同年9月修了)